

# 柔道競技

1 日 時 令和8年6月 7日(日) 開始式 11:00 ~

2 会 場 クラサス武道スポーツセンター 武道場3

3 競技種目 団体戦及び個人戦とする。

4 競技規定 (1)国際柔道連盟試合審判規定による。

(2) 試合時間は男女団体戦・個人戦とも3分とする。

(3) 団体試合は、優勢勝ちの判定基準は、「有効」とする。技による評価が同等の場合は「僅差」で判定する。但し、僅差は「指導差が2」以上とする。対戦内容が同等の場合は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。代表戦の判定基準は団体試合に準じて行うが、得点差がない場合は、個人戦に準じた判定基準で延長戦（ゴールデンスコア）を実施し、勝敗を決する。

(4) 個人試合は、優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上とする。技による評価が同等の場合は「僅差」で判定する。但し、技による評価が同等の場合は、「僅差」で判定する。僅差は「指導差が2」以上とする。  
内容が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。(技の効果、指導1リードで勝ちとする。)

5 競技方法 (1)団体戦

①団体出場校3校以上の場合はリーグ戦もしくはトーナメント戦とする。

②男子のチーム編成は監督1名・選手5名・補欠2名の計8名以内とする。  
(ただし選手は、3名以上で出場可)

③女子のチーム編成は監督1名・選手3名・補欠1名の計5名以内とする。  
(ただし選手は、2名以上で出場可)

(2)個人戦 男女ともに出場人数に制限は設けない。

①個人戦はトーナメント戦により、勝敗をつける。

②男子個人戦の体重区分は4階級とする。  
(65kg以下 65kg超～75kg以下 75kg超～90kg以下 90kg超級)

③女子個人戦の体重区分は3階級とする。  
(52kg以下 52kg超～63kg以下 63kg超級)

※ 団体戦の選手選考のため、無差別にて試合をすることもある。

- 6 参加資格 (1)第60回大分県高等学校定時制通信制体育大会実施要項参加資格に準ずる。  
(2)該当年度・全日本柔道連盟に登録していること。  
(3)健康診断を受診していること。
- 7 その他 (1)柔道衣及び帯は、全柔連の認証ラベルが無い柔道衣でも可とする。但し、  
大きさ等の規格は国際柔道連盟が出している「柔道衣コントロールガイド  
ンス」に基づいたものであること。  
(2)全国大会選考基準については、試合態度も考慮する。  
(3)団体・個人の全国大会選考については全国大会派遣選考会で決定する。

(選手および指導者は下記事項を遵守すること)

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- ⑤ 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。なお、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- ⑥ 別途指示する感染症対策を遵守すること。